

放課後まなび教室リーディング校（平成 29 年度）の実践事例

＜目次＞

○ 放課後まなび教室リーディング校について P 1

○ 各指定校における取組 P 2 ～ P 3 7

紫竹小学校（北区）……………	2	室町小学校（上京区）……………	4
七条第三小学校（下京区）…	6	九条弘道小学校（南区）………	8
明德小学校（左京区）……………	1 0	八瀬小学校（左京区）……………	1 2
大原小学校（左京区）……………	1 4	錦林小学校（左京区）……………	1 6
下鴨小学校（左京区）……………	1 8	音羽小学校（山科区）……………	2 0
嵯峨小学校（右京区）……………	2 2	常磐野小学校（右京区）………	2 4
梅津北小学校（右京区）………	2 6	川岡東小学校（西京区）………	2 8
竹の里小学校（西京区）………	3 0	藤城小学校（伏見区）……………	3 2
北醍醐小学校（伏見区）………	3 4	伏見板橋小学校（伏見区）…	3 6

放課後まなび教室リーディング校について

1 趣旨

地域と連携した学校体制のもと、放課後まなび教室の取組の推進をはじめ、学校に隣接する児童館等との連携を進めている学校を、「放課後まなび教室リーディング校」として指定し、その取組の充実を図るとともに、成果を全市に発信することを通して、放課後の子どもたちの居場所づくりのより一層の充実を図る。

2 指定校

- (1) 学校名（全 18 校）※学校敷地内で学童クラブが実施されている学校の中から指定

紫竹，室町，七条第三，九条弘道，明德，八瀬，大原，錦林，下鴨，音羽，嵯峨，常磐野，梅津北，川岡東，竹の里，藤城，北醍醐，伏見板橋

- (2) 指定期間 平成 29 年 2 月から平成 30 年 3 月まで

3 取組内容

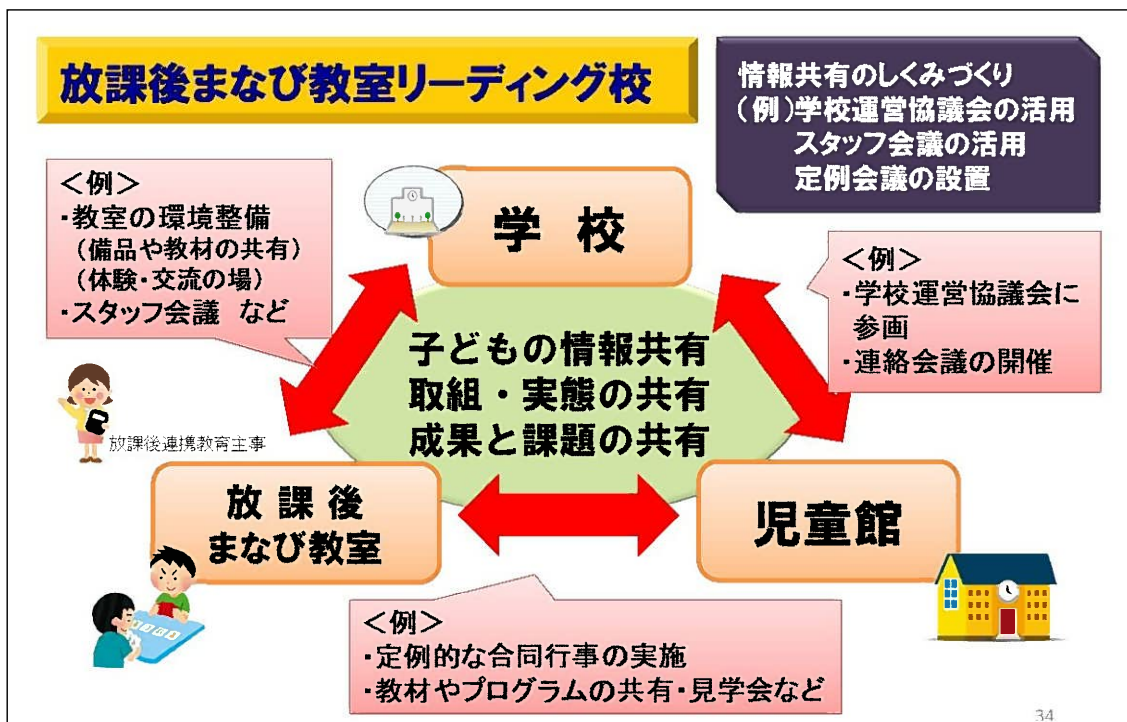
- (1) 学校と放課後まなび教室の連携

- 例 ① 放課後まなび教室の環境整備
② 放課後まなび教室関係者と教職員との情報共有
③ 放課後まなび教室に関する情報発信

- (2) 学校（放課後まなび教室含む）と児童館（学童クラブ含む）の連携

- 例 ① 連絡会などでの情報共有
② 共通プログラムの実施，合同行事等での児童や指導者の交流
③ 学童クラブ登録児童でも放課後まなび教室に参加できる環境整備

4 概念図



紫竹小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週 4 日	●	●	●		●	午後 2 時 40 分	午後 5 時	午後 5 時

○ 開設場所 ふれあいサロン・学校図書館

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	5 5	4 7	4 5	4 7	4 0	3 1	2 6 5
まなび登録者数	1 8	1 5	1 2	2 1	3	2	7 1
※うち学童登録者	1 0	7	6	0	0	0	2 3

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 12 名

2 教室の特色

- 「一人一人がめあてをもって、やる気を出してまなび教室」を目指して、スタッフと学校が協働して運営しています。
- 児童の参加意欲を高め、日々の活動をより充実したものにするために、宿題のドリルやプリント学習だけでなく、月ごとにテーマを設定した教材を紹介して、調べ学習や作品づくりをしています。
- 三つの取組（学校行事と関連させた取組・教科学習と関連させた取組・出来事と関連させた取組）により子どもに興味や関心をもたせ、主体的に学習を進めていけるように工夫しています。

月ごとにテーマを設定して

5月 葵祭

子どもたちの目にふれるように「放課後まなび教室」には、フタバアオイとカツラを置いています。



葵祭ってどんな祭り?

みなで 500 人の行列が京都御所から上賀茂神社まで歩きます。

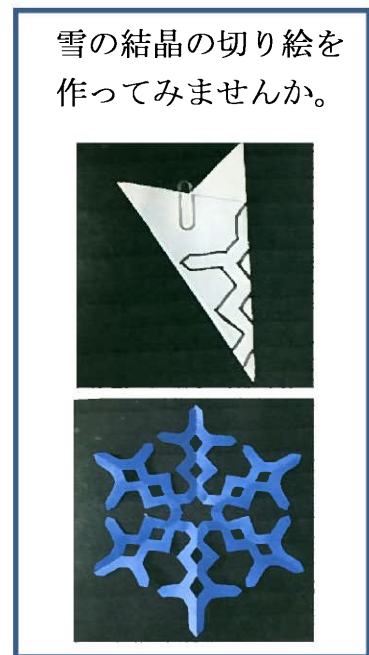
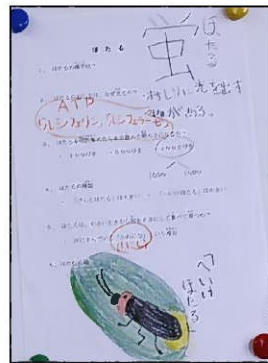
平安時代の美しい着物を着て、京都らしいみやびな感じがあふれます。

葵祭りのはじめは、今からおよそ 2000 年以上前大堰川で水遊びが盛んだった時に、すずをつけた馬を走らせて、お米などがゆたかにみえるように上賀茂、下鴨の神像に祈ったのが始まりとされています。平安時代に書かれた『源氏物語』や『枕草子』などでも「まつり」といえば「葵祭」を指すほど、古くから京都を代表する祭りでした。祭りにかかわる人や牛車などに「ふたば葵」をかざったことから

葵祭の行事に参加し、育てたフタバアオイを植えました。



6月 つゆ
7月 祇園祭
9月 運動会



10月 遠足
11月 落ち葉
12月 クリスマス



何の葉っぱか
図鑑で調べたよ。

1月 お正月・雪
2・3月 春

学校行事と関連させた取組



平安騎馬隊が
やってきた

馬について
調べたよ。

「轡」
難しい漢字
だね。

教科学習と関連させた取組



1年 国語「くじらぐも」
何がみえるかな

出来事と関連させた取組

地球儀でどこに
あるか調べたよ。

少しずつ国旗
を覚えたよ。



世界の国旗	金	銀	銅
アメリカ合衆国	37	29	17
イギリス	26	18	15
中国	26	18	15
ロシア	19	13	9
ドイツ	17	10	6
フランス	10	6	3
韓国	9	6	3
日本	7	5	4

オリンピックが
日本で開催されるよ

3 児童館と連携した取組

- 学校運営協議会の文化・学習支援委員会に放課後まなび教室の実行委員長や児童館の館長が、企画推進委員として参画しています。
- 放課後まなび教室と学童クラブの合同行事も実施しています。
- 放課後まなび教室から、学童クラブへ行く連携体制もしっかりとれています。



「墨のアートに
チャレンジ！」



「自分の好きな字を
書こう」



「折り紙の切れはしで
ちぎり絵作り」

室町小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週3日	●		●		●	午後2時45分	午後4時50分	午後4時50分

○ 開設場所 図書館

○ 登録児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
全児童数	47	42	42	51	39	41	262
まなび登録者数	24	20	14	15	8	3	84
※うち学童登録者	11	10	2	7	0	1	31

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数(アドバイザー, サポーター) 19名

2 教室の特色

- 「放課後にほっとできる居場所づくり」を目指して教室を運営しています。
 ○時間を区切り, 集中して宿題や計算プリント, 読書に取り組む「じっくりタイム」,
 リラックスしてパズルや折り紙, 編み物などに取り組む「ゆったりタイム」を設け,
 けじめをつけて取り組むことができるようにしています。



「じっくりタイム」の時は, 静かに集中して宿題をします。



図書館の本を使って調べ学習をしています。



2年生が1年生にまなび教室での学習の仕方を教えます。



「ゆったりタイム」は, リラックスしてパズル等に取り組みます。



スタッフさんにこつを教えてもらって折り紙を折っています。



毛糸を使った指編みにも挑戦しています。

3 むろまち児童館と連携した取組

- 室町小学校に隣接してむろまち児童館があり、放課後まなび教室登録児童のうち、約4割が児童館にも通っています。
- 1週間のうち、数日、児童館の子どもたちが本校の和室を利用しているので、集合しやすく、まなび教室と児童館で連携して、七夕飾り作り、クリスマスリース作り等に取り組むことができました。

七夕かざりづくり



まず、まなび教室の2年生で、かざりの作り方を勉強しました。



和室に行って、児童館の1年生に作り方を教えました。



まなび教室と児童館の子どもたちが一緒に飾りつけをしました。

クリスマスリースづくり



4種類のタイプからつくりたいリースを選びました。



ビーズやどんぐり、リボンなど思い思いにかざりを付けていきます。



自分だけのリースの完成！



サンタクロースと共にかざりつけをしました。



児童館の声



- ・まなび教室の子どもたちに教えてもらったことを児童館に帰って友達に教えていた。
- ・子どもたちの生き生きとした姿が見られた。

シュートゲーム大会



ゴールに入った回数を競いました。

子どもの声



- ・みんなで一緒に学習したり、児童館の友達と一緒に色々な飾りを作ったりして楽しかった。
- ・普段の学習とは違うことができてよかった。

スタッフの声



- ・友達と声をかけ合って学習している様子がほほえましい。
- ・モノ作りやシュートゲームなどで見せる子どもの顔はキラキラしていて作品などを見ても、子どもたちの可能性を感じることができた。

七条第三小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了 (2~3 月)	終了 (11~2 月)
週 3 日	●		●		●	午後 2 時 45 分	午後 5 時 15 分	午後 4 時 15 分

○ 開設場所 専用教室, 図書室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
児童数	7 9	6 4	6 5	7 1	6 4	5 9	4 0 2
まなび登録者数	4 1	4 1	2 7	1 9	1 1	3	1 4 1
※うち学童登録者	1 4	2 4	1 1	4	1	1	5 5

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 10 名

2 教室の特色

- 「毎日来たくなる教室」を目指して, スタッフと学校が協働して運営しています。
- 児童の参加意欲を高め, 日々の活動をより充実したものにするために, 教室や廊下の環境整備 (掲示物等) を工夫し, 心温まる活動空間づくりに努めています。
- 基本的なルール, 放課後まなび教室の目標など, 黒板前の掲示のほか, 季節感を取り入れた製作や掲示物も工夫しています。



学年ごとの曜日やスケジュールなどの掲示



心のこもった温かみのある空間づくりを工夫。



静かに宿題。集中しています。その後は, 家庭的なほっこりとした雰囲気のもとで, 折り紙やカルタとりなど, 友だちとゆったりと過ごします。

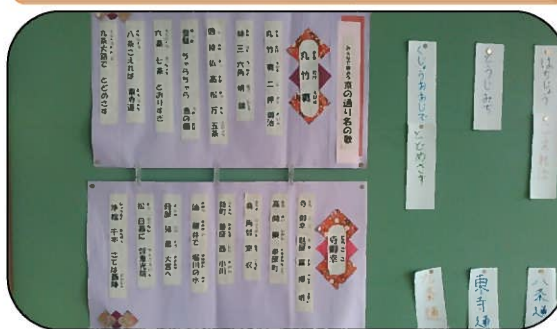
- ・ 地域の方々の活動に日々感謝している。
- ・ まなび教室と児童館との連携 (情報共有) を深めることで, 放課後の児童の様子がよくわかり, 学級経営に生かすことができた。
- ・ 家庭学習の習慣をつけるためにもとても大切な時間を過ごさせてもらっている。



教職員の声



京都の通り名や季節に応じて、お楽しみ会的な取組も取り入れます。



子どもの声



- ・ 学習が集中してできるのでうれしい。
- ・ 友だちと一緒に楽しく勉強できるのがよい。
- ・ 地域の方が丁寧に教えてくれる。

3 児童館と連携した取組

- 学校運営協議会に放課後まなび教室の実行委員長や児童館の館長が、理事・企画推進委員として参画しています。
- 放課後まなび教室と学童クラブの合同行事も積極的に実施しています。
- 放課後まなび教室から、学童クラブへ行く連携体制もしっかりとれています。



まなび教室から学童クラブに行く子どもに対して、参加カードで確認し「時間だよ。気をつけて行っておいで。」などと声掛けをしています。

- ・ あいさつや礼儀正しい行動の指導も大切になりたいと思う。
- ・ 学校の宿題だけではなく、百人一首や季節の行事に合わせた活動も計画すると子どもたちが喜んでくれるのが嬉しい。
- ・ 1年生は後期から…また2年生以上の子どもたちも、毎年続けていくことで、まなび教室での活動に慣れてくる。子どもの日々の成長を感じながら楽しく過ごさせていただいている。



スタッフの声



早く学校の宿題が終わった人は…児童館へ行くまでの時間を活用して自分で選んだ課題にも取り組みます。



教室から放課後まなび教室に移動してきた子どもたちの荷物を整理して置けるようカゴを用意し、学童クラブへの忘れ物を防ぎます。

九条弘道小学校 放課後まなび教室 （平成 29 年度）

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週 5 日	●	●	●	●	●	午後 2 時 50 分	午後 5 時	午後 5 時

○ 開設場所 九条弘道小学校 西校舎 1 階 チャレンジ室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	2 7	2 4	2 1	2 3	1 5	1 4	1 2 4
まなび登録者数	9	1 0	5	3	1	0	2 8
※うち学童登録者	5	6	2	0	0	0	1 3

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数（アドバイザー，サポーター） 21 名

2 教室の特色

- スタッフは、ほとんどが地域や保護者の方々と構成されており、子どもたちを温かく見守る雰囲気の中で、運営しています。
- スタッフの特技や専門性を生かして、日替わりでさまざまな学習を実施しています。（月…英語 火…そろばん 水…手芸 木…書道 金…読書）



活動前，早く集まってきた低学年を中心にプリント学習を行います。



火曜日は「そろばん」の日です。まだまだ慣れない手つきですが熱心に取り組めます。



木曜日は「書道」の日。書家でもあるスタッフから丁寧に教わります。



低学年は，筆ペンを持って「書道」に挑みます。



今年度導入されたタブレットを使って、漢字や計算の学習をしています。

子どもの声



- ・自分の好きな学習を選んで学べるので楽しい。
- ・初めは難しいけど、どんどん上達していくのがうれしい。

教職員の声



- ・子ども一人一人の個性や特性をよく知って関わってくださるのがありがたい。
- ・子どもについて情報交換をし、学級経営にも役立てている

3 ゆうゆうクラブと連携した取組

- 放課後まなび教室に隣接した部屋でゆうゆうクラブを実施しており、放課後まなび教室登録児童のうち約5割がゆうゆうクラブにも登録しています。
- 両教室を兼ねているスタッフもあり、位置関係の利点とも合わせて、連携を密にして指導を行っています。
- 放課後まなび教室のスタッフがゆうゆうクラブに出向いての書道教室や、外部講師を招いての人形劇の会など、合同行事も積極的に実施しています。



まなび教室のスタッフによるゆうゆうクラブでの書道教室。月に1回のペースで実施しています。



「交流夏祭り」に合同で参加しました。みんなで、九条弘道ほっと広場の紹介とけん玉発表をしました。



ゆうゆうクラブの「ぬりえコンテスト」にまなび教室の子どもたちも参加しました。



「さくらんぼサークル(退職女性校長会)」による人形劇の会に合同で参加しました。



スタッフ手作りの花かご

閉講式で、6年生一人一人に手渡されました。6年間ありがとうございました。



今年度は新規スタッフを募集し、地域や保護者から8名が加わりました。得意分野も年齢層も幅広く、地域の子どもたちの教育に情熱のあるスタッフばかりです。子どもたちの様々なニーズにさらに広く応えることができるようになりました。



年輪ってこんなふうになっているんだね。

お話を聞いた後は、クイズでおさらいをしました。



今年度購入したパソコンとプロジェクター、スクリーンを使って、森林インストラクターの資格をもつスタッフからのお話し会。森のひみつについて初めて知ることがいっぱいでした。

3 児童館と連携した取組

- 運動場でつながっている放課後まなび教室と児童館。まなび教室終了後には、児童館の職員が迎えに来てくれるなど、まなび教室と児童館が連絡を密にとることができる環境です。
- 放課後まなび教室の参加証に児童館直接利用の欄を設け、自由来館の児童も、まなび教室終了後に直接児童館に向かうことができるシステムをつくっています。
- 地域と学校が共催する「明德おーぷんぎゃらリー」には、放課後まなび教室、児童館が共に出品しています。



「明德おーぷんぎゃらリー」にまなび教室でつくった作品を出品することで、地域の人にも作品をみてもらえます。

日にち	ようび	開始	終了時間	退出時間	2年 保護者 確認印	教室 確認印	児童館 参加印
2日	月	A (B) C	16:00				
6日	金	A (B) C	16:15				
9日	月	体育の日					
13日	金	A (B) C	16:15				
16日	月	A B C	16:00				
20日	金	A B C	16:00				
23日	月	A B C	16:00				
27日	金	A B C	16:15				
30日	月	A B C					

この参加証で、帰る時刻や児童館への来館の有無を保護者・まなび教室・児童館で共有できます。

八瀬小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(2～10月)	終了(11～1月)
週 5 日	●	●	●	●	●	午後 2 時 30 分	午後 5 時	午後 4 時 30 分

○ 開設場所 学習室 1・2

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	1 2	1 7	1 0	7	8	5	5 9
まなび登録者数	1 2	1 2	7	0	4	4	3 8
※うち学童登録者	8	1 1	4	0	0	0	2 3

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 1 5 名

2 教室の特色

- 「毎日、勉強する習慣を身につけよう」という思いをもって、スタッフと学校とが協力して運営している。
- 「1 人でも放課後まなび教室に来たい子がいるなら開設しよう」と、まなびのスタッフの方々の温かい思いで、本校では毎日開設している。
- まなび教室に来た児童は、まずは宿題を自主的に取り組む。できた児童から自学自習用に用意した個別ファイルの算数計算プリントや国語プリントに取り組んだり、新しく導入されたタブレットを使った学習をしたりしている。
- 児童の学習や活動の様子を見て、その子に合わせた支援もしている。
- 学習以外にも、スタッフの方々の特技を生かして、折り紙・紙飛行機・コマ回し・囲碁・将棋・クリスマスリース作りなども児童と一緒に取り組んでいる。



自学自習用に個別の算数計算プリントファイルを用意しています。



タブレットの中に、学習用ソフトが充実してきました。



算数や国語のプリント、タブレットを自由に選んで、学習しています。

3 学童クラブと連携した取組

- 同じ校舎の同じ階、廊下でつながったまなび教室と学童クラブなので、児童もスタッフ・職員も気軽に行き来できる環境であり、常に連携を取っている。
- 放課後まなび教室スタッフ会議に学童クラブの職員も参加し、登録している児童の学習や活動の様子を情報交流したり、児童に守ってほしい決まり等を共通理解したりしている。
- 放課後まなび教室に参加している児童のうち、6割が学童クラブにも登録していることもあり、年間数回、両教室合同の取組を計画し、実施している。

バザー作品作り



「修学院中学校の一乗寺バザー」に向けて、出品する作品作りを合同でしました。まなび教室のスタッフと学童クラブの職員が連携して、子どもたちの活動をサポートしました。スタッフが用意した手作り手提げカバンに、子どもたちが思い思いにフェルトを貼り付けて、素敵なカバンに仕上げていました。

クリスマスリース作り



事前にスタッフが集まって、近くの山で材料を調達
(松ぼっくり・木の実・つる・月桂樹の葉など)

毎年、クリスマスが近づいてくると、まなび教室では「クリスマスリース作り」を行っていました。

今年は、学童クラブとの合同事業として行いました。当日は、たくさんの子どもの参加で、賑わっていました。



まなびの教室が、「クリスマスリース作り」の材料でいっぱい。スタッフのアドバイスやお手伝いのもとに、個性豊かなリースが出来上がっていました。

大原小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4~10月)	終了(11~3月)
週 5 日	●	●	●	●	●	午後 15 時(木 14 時 30 分)	午後 5 時	午後 5 時

○ 開設場所 専用教室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	5	5	6	6	9	7	38
まなび登録者数	5	4	6	5	8	5	33
※うち学童登録者	4	2	5	5	5	1	22

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 9 名

2 教室の特色

- 「大原の子どもたちをみんなで見ていこう」という方針で運営している。
- 教室に来た児童は、宿題や計算練習、漢字練習、音読などの自学自習に取り組み、児童の状況に応じてスタッフが児童に寄り添い丁寧に学習支援をしている。
- 工作教室、茶道教室などスタッフの特技を生かした体験活動などの取組も実施。
- 「大原の子どもたちをみんなで温かく見ていく放課後まなび教室」を目指して、月に 1 回「学童まなび運営委員会」を開催してスタッフと学校が協働して運営している。
- 児童の参加意欲を高め、日々の活動をより充実したものにするために、教室や廊下の環境整備（掲示物等）を工夫し、心温まる活動空間づくりに努めている。
- 教室での基本的なルール、放課後まなび教室での目標など、教室内の掲示のほか、季節感を取り入れた製作物や掲示物も工夫しています。



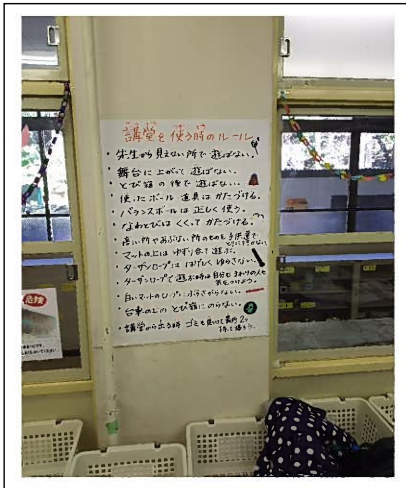
まずは宿題や自分の課題学習に取り組みます。



タブレットを使い国語や算数の発展学習や調べ学習をしています。



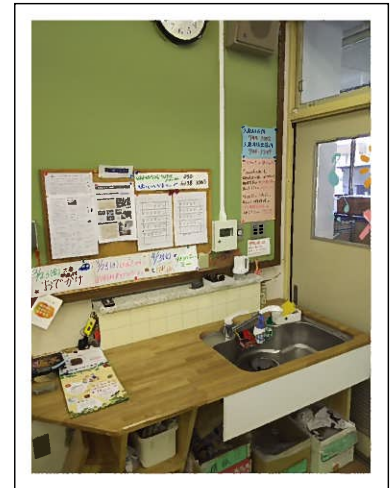
問題集や調べ学習用の本がそろっていて自分で進んで学習しています。



教室や施設などを使う時のルールを分かりやすく掲示しています。



一人一人を大切にしたい、心のこもった温かみのある空間づくりを工夫しています。



情報を整理して掲示しています。また、手洗い、うがいなどの衛生面にも注意を払い、温かみのある空間づくりを工夫しています。

3 児童館（地域学童）と連携した取組

○放課後まなび教室と学童クラブの組織体制が同じ施設内で一体となり運営しており、「学童まなび運営委員会」が設置されている。学校運営協議会の理事が委員長及び副委員長を務めている。また、同時に大原自治連合会の会長、副会長であり学校、放課後まなび教室スタッフ、学童クラブスタッフ、自治連合会が一体となった組織である。

○放課後まなび教室と学童クラブの合同行事も積極的に実施している。

○放課後まなび教室と同じ部屋で地域学童クラブを実施しており、連携して活動している。

○同じ場所で運営している利点を生かし、合同で茶道教室や工作教室を実施している。

茶道教室



地域の茶道の先生に教えていただきます。年に2回実施します。子どもたちは礼儀正しくお茶をいただきます。

牛乳パックや色紙などを使い、手作りのおもちゃを作りました。子どもたちはできたおもちゃで楽しく遊びました。

工作教室



錦林小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(3～10月)	終了(11～2月)
週3日	●		●		●	午後2時30分	午後5時	午後5時30分

○ 開設場所 放課後まなび教室・学習の広場

○ 登録児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
全児童数	89	112	96	85	84	85	551
まなび登録者数	20	42	31	15	8	7	123
※うち学童登録者	3	14	10	0	0	0	27

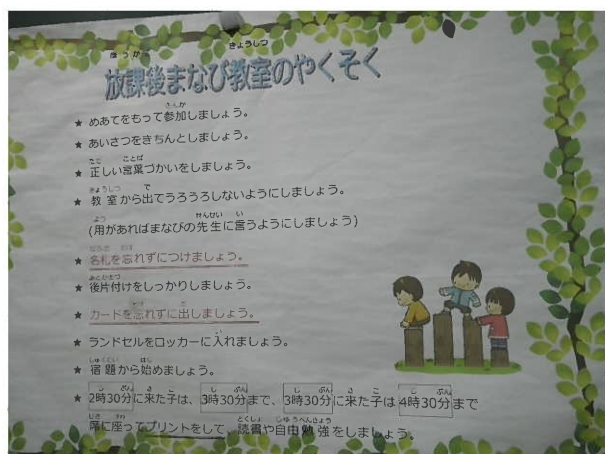
※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 10名

2 教室の特色

○放課後の居場所づくりから自学自習の学習を目指し、取り組んでいます。主に、宿題を中心に取り組み、宿題ができればプリントに挑戦します。しかし、本を読んだり、カードゲームをすることも大丈夫です。また、タブレットを使用することもあり、児童の状況に応じて取り組んでいます。

○「シール 100 枚を目指そう!」という取組を行っています。これは、宿題終了後、1枚のプリントができれば、1枚のシールがもらえるという取組です。この目標を達成するため、児童に寄り添い、支援しています。



1年間のやくそくを掲示しています。

宿題が終わったのでタブレットを使っています。

- ・ 本も充実しているのうれしいです。
- ・ 友だちと一緒に楽しく勉強しています。
- ・ 先生が丁寧に教えてくれます。
- ・ ぴかぴかシールがうれしいよ。
- ・ ボードゲームやパズルもあるよ。



3 児童館（学童クラブ）と連携した取組

- 放課後まなび教室登録児童のうち約2割が学童クラブに登録しており、所在確認や緊急時の対応などの連携も充実している。
- 互いの部屋を参観するなど、交流もできている。
- 年に3回の連絡会議が行われ、それぞれからの報告などで会議が進められている。



下鴨小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週3日		●	●	●		午後2時30分	午後5時30分	午後5時

○ 開設場所 図書室および準備室

○ 登録児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
全児童数	50	62	65	54	63	61	355
まなび登録者数	31	26	29	15	4	2	107
※うち学童登録者	3	8	1	1			13

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 10名

2 教室の特色

○子どもたちの安心・安全な放課後の保証を目指しています。

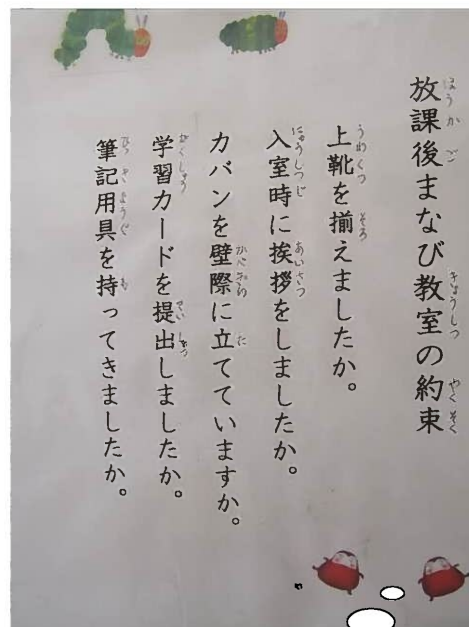
○子どもたちの自学自習の時間と場所の確保を目指しています。

○「下鴨の子どもたちは、地域で育てよう。」と、スタッフ間の情報交換・連携を密にして、居心地のよい・温かい雰囲気教室づくりを目指しています。



一人一人の退室時刻を確認しながら、参加カードを受け取ります。

宿題ができれば、学習プリントにも取り組みます。



みんなが気持ちよく
過ごすための約束で
す！

3 児童館（ゆうゆうクラブ、地域学童）と連携した取組

○放課後まなび教室と同じ校舎の3階に「ゆうゆうクラブ」があり、放課後まなび教室で学習した後、「ゆうゆうクラブ」に通う児童もいます。

○以前から「ぬり絵コンテスト」や「児童館夏まつりへの参加」などを通して交流していましたが、今年度はさらにスタッフや児童の交流を増やしました。

～夏祭りに向けての替え歌作り～



＜ゆうゆうクラブスタッフによる指導＞

～読み聞かせの会への参加～



＜夏季休業中＞

～お楽しみ交流会～

ゆうゆうクラブ・放課後まなび教室児童が希望するコーナーで一緒に過ごし、遊んだり学習したりしました。（スタッフも双方から参加し、子どもたちの交流を見守りました。）



＜読み聞かせ＞



＜将棋・オセロ＞



＜カルタ＞



＜まなび教室での自習＞



放課後まなび教室・ゆうゆうクラブの児童が一緒になって仲良く遊んだり、静かに学習したりすることができ、双方の児童にとって有意義な時間となった。

学校にとっても、保護者にとっても、放課後、校内で過ごす子どもたちを多くの大人が見守ってくれることは、とても安心である。

音羽小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週 3 日		●	●		●	午後 2 時 3 0 分	午後 4 時 3 0 分	午後 4 時 3 0 分

○ 開設場所 少人数教室 (専用教室), 音読用教室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	6 3	5 5	6 1	4 4	4 8	4 7	3 1 8
まなび登録者数	2 2	1 4	1 6	1	2	0	5 5
※うち学童登録者	8	2	5				1 5

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 11 名

2 教室の特色

- 「来たくなるまなび教室」を目指して、取組を進めています。
- 来室児童は、元気な素敵な挨拶をしながら入室してきます。本教室では、宿題・プリント・音読を中心に自学自習に取り組んでいます。
- 学習用専用教室「少人数教室」と音読用教室を設けています。
音読では、スタッフがしっかりと聞いて、確認のサインをして頂きます。
- 教室は、いつも整理整頓されています。また、壊れたものがあれば何時でも管理用務員さんが修理をします。



子どもたちの、心のこもった素敵な挨拶を心待ちにしながら準備をしています。



専用教室には、辞書や図書類、ゲーム類がそろっています。



ゆっくり、はつきり、気持ちを込めて読んでいます。スタッフも子どもたちの音読を聴くのが楽しみです。



子どもたちが気持ちよく勉強ができるように、教室の整理整頓を心がけています。机上には、事前に名札もセットしておきます。

3 学校と放課後まなび教室との連携

- ・学校運営協議会の定期的な理事会において、放課後まなび教室関係者も出席し、成果・課題を報告し、取組の充実に繋げています。
- ・スタッフ会議を定期的に行い、管理職も参加して情報交換を行っており、学校全体の取組となるように努めています。
- ・本教室の内容充実のため、今年度購入したタブレット型パソコンの効果的な活用について、教職員の指導のもと研修会を持ち、学校教育との連動を図るための研究を重ねています。



タブレット型パソコンの活用方法について教職員と議論する放課後まなび教室スタッフたちの様子です。



放課後まなび教室スタッフは、多くの方が読み聞かせボランティアとして活動しています。

4 児童館（ゆうゆうクラブ、地域学童）と連携した取組

- ・学校、放課後まなび教室関係者と児童館関係者との情報交換会を定例化するための、その仕組みづくりに着手しました。

・本来まなび教室に来るべき児童が児童館に来館していたり、児童館に行くべき児童がまなび教室に来ていたりしている事例をもとに、その所在確認の方法を徹底するなど、今後の連絡体制について確認し合っています。

（次年度は、児童館館長に学識経験者として学校運営協議会へ参画していただく予定です。）

- ・学校（放課後まなび教室を含む）と学童クラブの定例的な合同行事を企画し、児童や指導者が定期的に交流できるような仕組みづくりを進めています。（そうめん流し、凧作り…等）
- ・学童クラブの登録者であっても、希望すれば放課後まなび教室に参加できることや、放課後まなび教室登録児童であっても、児童館（自由来館）に直接来館できる制度があることなど、学校及び児童館との連携のもと、保護者に対して丁寧な周知を行っています。



定例会には、児童館から館長に出席して頂いています。



放課後まなび教室と音羽児童館による連携事業として「凧づくり」を行いました。竹ひごやビニール袋、新聞紙など身近なものを使って、オリジナルの凧を作りました。運動場のために凧をあげてみると空高くあがっていました。みんな大喜びでした。スタッフは、子どもたちの歓声と素敵なニコニコ笑顔に「ほっと」しました。



開講式には、児童館館長が激励の挨拶をして下さっています。



嵯峨小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週 5 日	●	●	●	●	●	午後 2 時 4 0 分	午後 5 時 3 0 分	午後 5 時

○ 開設場所 放課後まなび教室, コミュニティルーム

○ 登録児童数

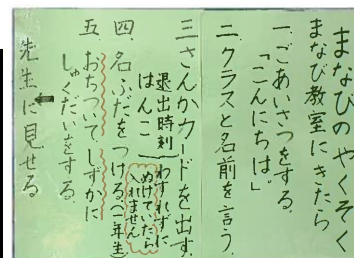
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	92	100	87	78	90	87	534
まなび登録者数	56	69	36	28	10	7	206
※うち学童登録者	20	27	15	7	1	0	70

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 10 名

2 教室の特色

- 自学自習のシステムが整っており、必要に応じてスタッフが児童に寄り添い、個別に丁寧に支援をしている。
- 児童が自ら勉強したい、もっとがんばりたいという意欲をかき立たせるような仕組みで、主体的に学びに向かう姿勢を育てている。



ランドセルを置いて、席に着くとすぐに宿題に取り組みます。



困った時や確認の時には、静かに手を挙げてスタッフを呼びます。



宿題の次は、大量に用意された「まなびプリント」にチャレンジ。

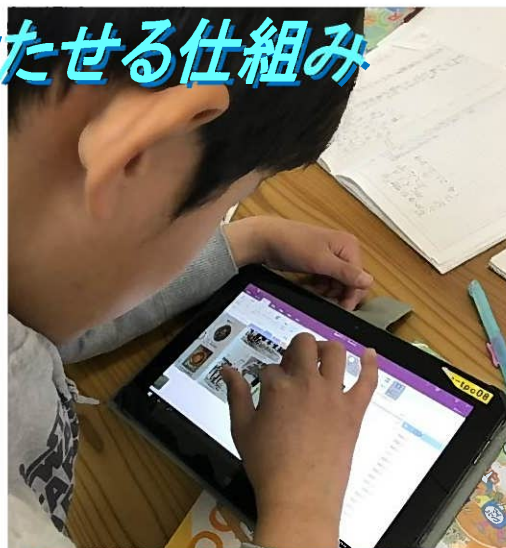


自分が選んだプリントを自分のペースで取り組みます。

学ぶ意欲をかき立たせる仕組み



「まなびプリント」は、がんばりカードに綴じるようになっていきます。その分厚さが、がんばった証となり、次へのやる気になるのです。



まなびプリントが終わってからタブレットを使って、自主学習の調べ学習に取り組んでいる子もいます。

3 児童館（ゆうゆうクラブ、地域学童）と連携した取組

- 放課後まなび教室からゆうゆうクラブへ行く時間が決められ、連携体制がとれている。
- 連絡調整を密にすることで、合同行事や単独行事をすみ分けて取り組んでいる。



常磐野小学校 放課後まなび教室 （平成 29 年度）

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週 5 日	●	●	●	●	●	午後 2 時 40 分	午後 5 時	午後 5 時

○ 開設場所 専用教室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	9 2	1 0 1	9 3	9 0	9 9	9 6	5 7 1
まなび登録者数	2 0	2 6	2 3	2 2	1 5	7	1 1 3
※うち学童登録者	9	8	0	0	0	0	0

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数（アドバイザー、サポーター） 10名

2 教室の特色

- 児童が、放課後に安心・安全に過ごし学習することのできる場として、スタッフと学校が協働して運営しています。
- 教室に来た児童は、宿題や音読などの自学自習に取り組めます。児童の課題の状況に応じてスタッフが児童に寄り添い、丁寧に支援しています。
- 児童の参加意欲を高め、日々の活動をより充実したものにするために、自学自習のみではなく、子どもたちの興味関心を引くようなものを手づくりで作り、心温まる活動空間づくりに努めています。



放課後まなび教室に来た児童から、まず、自分の宿題を静かに集中して取り組み、その後、漢字や算数のプリントを取りに行き自習学習をします。



英語が堪能なスタッフが、児童が楽しくできる活動をしたり、手作りのスマートボールや将棋・オセロ等をしてゆったりと過ごします。



自己管理ができるように、児童一人一人に自分の棚があり、お家へのお便りなどを入れるなどの活用をしています。



子どもの声



- ・放課後まなび教室の先生が丁寧に教えてくれるので課題が早くできる。
- ・集中して自分の課題ができるのでうれしい。
- ・友だちと楽しく勉強できるのがいい。

スタッフの声



- ・子どもたちと関わる中で、いろいろな質問をしてくるので勉強になる。
- ・一年生のときから放課後まなびに登録している子どもが成長していくのを感じながら楽しく過ごしている。

3 児童館と連携した取組

- 放課後まなび教室の1階に児童館があるので、放課後まなび教室に通っている児童のうち1年生と2年生は、放課後まなび教室終了後、児童館を直接利用しています。3年生から6年生までが児童館に行くこともあります。
- 児童館主催の活動に、まなび教室登録児童が参加することもあります。
- 学校運営協議会に放課後まなび教室の実行委員長や児童館の館長が、理事・企画推進委員として参画しています。

日	曜日	まなび教室 退出予定 時刻	保護者 確認印	教室 確認	調	考	児童館 参加印
1	木						
2	金						
3	土						
4	日						
5	月						
6	火						
7	水						
8	木						
9	金						



放課後まなび教室から児童館に行く子どもについては、参加カードで確認し、まなび教室から送り出しています。

放課後まなび教室開講式には、まなび教室のスタッフの方が全員出席するとともに、校長先生、児童館の館長先生も来てくださいます。

梅津北小学校 放課後まなび教室 （平成 29 年度）

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週3日	●		●		●	午後2時45分	午後4時30分	午後4時

○ 開設場所 放課後まなび教室

○ 登録児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
全児童数	61	66	68	57	57	64	373
まなび登録者数	13	21	6	2	1		43
※うち学童登録者	4	3	2				9

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数（アドバイザー、サポーター） 10名

2 教室の特色

主にその日の宿題や、授業時間にやり残した課題、自分自身で用意した課題などに取り組んでいます。課題が終われば、友達やスタッフと一緒に折り紙や塗り絵、オセロや将棋などのゲームをして楽しい時間を過ごしています。

※ スタッフは、地域にお住まいの方々にアドバイザー・サポーターを務めていただいている、近所の子たちを見守るような感じで、あたたかく見守り関わっていただいています。また、サポーターには学生も数名おり、タブレットパソコンを活用した学習の際には、操作方法なども含めて子どもたちに教えていただいています。また、教室環境に気を配ってくださっていて、教室開始前の掃除はもちろん、折り紙で作った飾り等の飾りつけも季節に合わせて実施し、子どもたちが気持ちよく過ごせる環境づくりにも努めてくださっています。



地域の方々がスタッフとなり、子どもたちを温かく見守ります。



学習後は、折り紙や塗り絵などをして、楽しい時間を過ごします。



スタッフ手作りの飾りが教室のあちこちに飾られています。



29 年度からタブレットパソコンを導入。子どもたちの学習意欲もわきます。

スタッフの声



- ・低学年の児童が多く、ワイワイ賑やかな雰囲気の中で宿題を頑張っています。
- ・本校の卒業生に学習サポーターとして放課後まなび教室で指導していただき、また、温かく見守ってくださっています。放課後まなび教室の歴史を感じます。

子どもの声



- ・楽しいです。 ・遊ぶものがいっぱいあっておもしろいです。
- ・折り紙を教えてもらったり、ゲームを一緒にしてくれたりするのがうれしいです。
- ・宿題のわからないところをいつも教えてくれます。

3 児童館と連携した取組

放課後まなび教室開講にあたっての説明会には児童館館長にも出席していただき、学童クラブと放課後まなび教室の連携について情報発信し、保護者への周知を図りました。学童クラブの登録児童はもちろん、登録していない児童も放課後まなび教室と児童館の両方を利用しやすいように連携を密に深めていきました。また、放課後まなび教室と児童館、学校が児童の理解を深められるように、不定期ですが懇談会をもつようにしました。



説明会には児童館の館長先生にも出席していただきました。



自治連夏祭りは児童館も輪投げコーナーを担当。子どもたちも楽しいひと時を過ごすことができました。

川岡東小学校 放課後まなび教室 （平成 29 年度）

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週3日	●		●		●	午後2時40分	午後4時30分	午後4時30分

○ 開設場所 放課後まなび教室・会議室

○ 登録児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
全児童数	57	72	60	63	73	75	400
まなび登録者数	18	33	12	23	8	0	94
※うち学童登録者	5	3	4	1	0	0	13

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数（アドバイザー，サポーター） 12名

2 教室の特色

- 子どもたちが放課後時間に安心・安全に過ごせる場。
- 子どもたちにとって楽しい空間であると共に，自主的な学習にも取り組み，学力定着・学力向上につなげていく。
- 放課後まなび教室のスタッフの方々とのふれあいを通して，地域の方との交流を深めていく。



学校運営協議会において，放課後の子どもたちの様子や支援の方法等について情報交換しています。



登録児童は，来室するとすぐに宿題に取りかかります。みんな集中して学習に向かい，困った時にはスタッフの方々の温かい支援を受けることができます。



音読の宿題も、放課後まなび教室のスタッフの方に聞いてもらっています。



タブレットを活用して自主的な学習にも取り組んでいます。

学習の後は、楽しい活動が待っています。

* 毛糸でマフラーづくり



登録児童ごとに引き出しが決まっています。学習プリントやその時々制作している材料などが入っています。さあ、今日は何を作るのかな???



3 児童館（ゆうゆうクラブ、地域学童）と連携した取組



今年度は、児童館と共に、学校の前にある「牛ヶ瀬公園」のクリーンキャンペーンに参加しました。みんなで力を合わせて、夏の間に伸びた雑草を抜きました。

児童館との連携は、協議を進めながら共催できることを少しずつ進めています。

竹の里小学校 放課後まなび教室 （平成 29 年度）

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了（4～10月）	終了（11～3月）
週 5 日	●	●	●	●	●	午後 2 時 30 分	午後 5 時	午後 4 時 30 分

※月曜日のみ午後 2 時開始

○ 開設場所 放課後まなび教室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
児童数	2 8	2 3	1 9	3 0	4 0	2 4	1 6 4
まなび登録者数	2 4	1 9	5	1 3	1	3	6 5
※うち学童登録者	7	9	2	0	0	3	2 1

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数（アドバイザー、サポーター） 17名

2 教室の特色

- スタッフの温かい支援にささえられて、毎日の児童の自学自習の場・『放課後まなび教室』が行われています。
- 自主的に学習した後は、読書をしたり、知的玩具で遊んだりします。地域の方と将棋をさすこともあります。
- 陶芸教室等の「文化的な体験教室」も時々行っています。
- 隣室の『学童クラブ（ゆうゆうクラブ）』との交流活動は、両方のスタッフが一緒に話し合ったうえで、学期に数回実施しています。



日常の風景。まずは宿題に集中します。



学習のための資料も整理してあります。

年度初めの「保護者説明会」まなび教室の主旨や協力してもらったことについて話します。

宿題後に、折り紙、パズル、知的玩具などをする児童もいます。

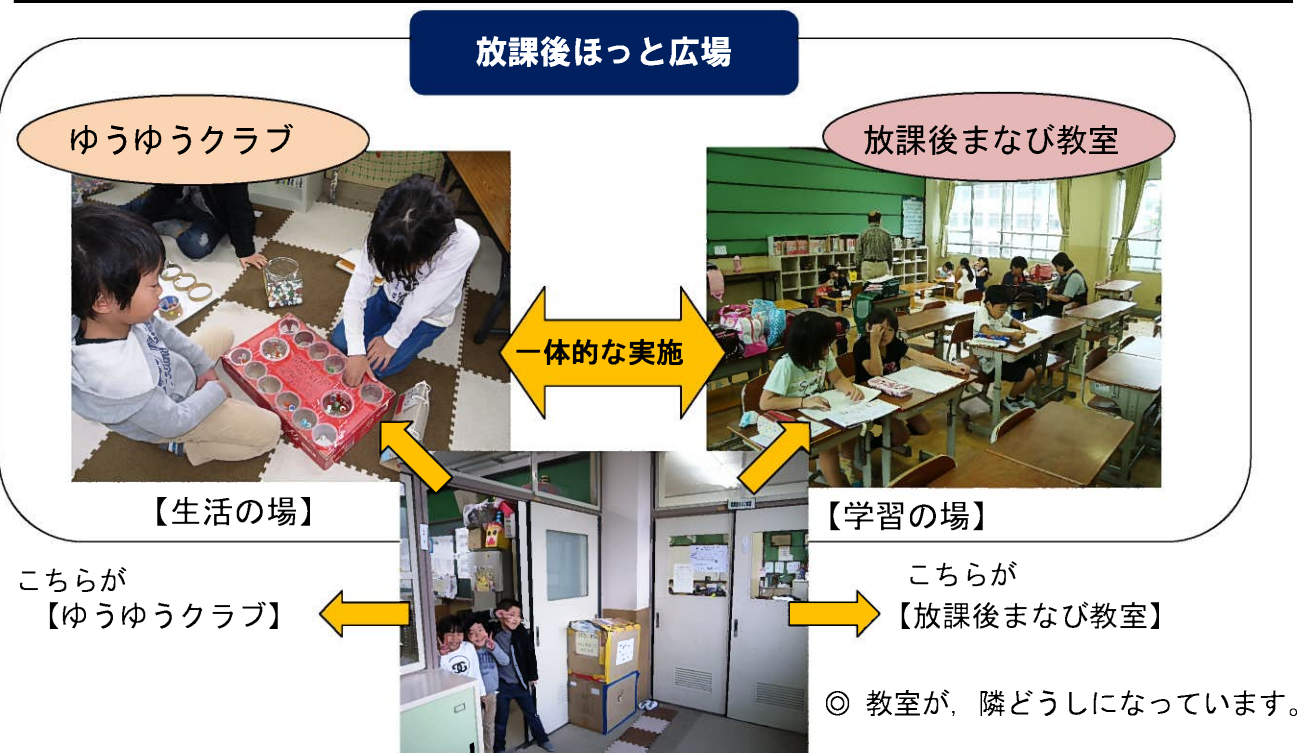


スタッフの方との将棋の様子



3 ゆうゆうクラブと連携した取組

- 放課後まなび教室で学習した後、ゆうゆうクラブで遊ぶという形になっています。
- 「英語で遊ぼう」（大型テレビの活用）や「ダンス発表」（ほっと広場の夏祭り）、「陶芸教室」・「ぬり絵コンテスト」・「ネックウォーマー作り」など、多くの活動をゆうゆうクラブと一緒に取り組むことができました。



【放課後ほっと広場】で、両教室合同の取組を行いました。



大型テレビを活用した「英語で遊ぼう」。
ここで覚えたダンスを、「交流夏祭り」で
発表しました。



ネックウォーマー作り



「ぬり絵コンテスト」に両教室の児童が応募



毎年恒例の両教室合同での「陶芸教室」

藤城小学校 放課後まなび教室 (平成 29 年度)

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了(4～10月)	終了(11～3月)
週 4 日	●	●		●	●	午後 3 時 00 分	午後 5 時	午後 5 時

○ 開設場所 図書室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	6 2	6 3	6 8	7 8	7 9	7 1	4 2 1
まなび登録者数	1 1	1 3	1 4	1 4	7	2	6 1
※うち学童登録者	6	7	8	5	0	0	2 6

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数 (アドバイザー, サポーター) 1 2 名

2 教室の特色

- 学校運営協議会の中に放課後まなび教室実行委員会があり、放課後の子どもたちの「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を充実する取組として運営しています。
- 教室に来了児童は、宿題などの自学自習に取り組み、児童の状況に応じてスタッフが児童に寄り添い、丁寧に支援しています。



普段の様子です。みんな集中して宿題に取り組んでいます（集中して取り組めるように名札で座席を指定しています）。藤城校では、地域ぐるみの活動を多く行っており、活動の際には藤城安全委員会で作成したやまざくら色のスタッフジャンパーやベストを着用しています。子どもたちは、登下校でも放課後まなび教室でも見守られて安心して学習に取り組むことができます。

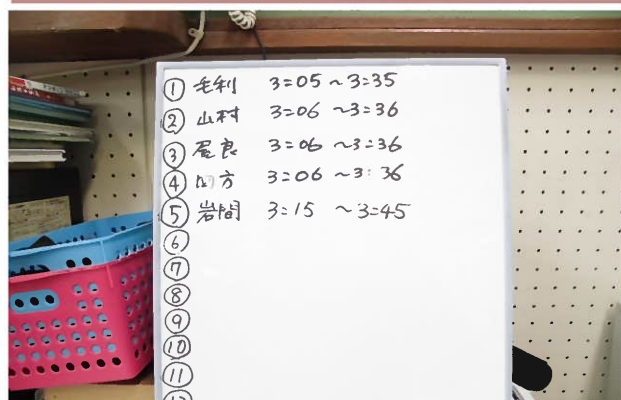
平成29年度からタブレット端末が導入されました。



スタッフのタブレット研修会を実施



タブレットで復習や調べ学習



使用できるのは、宿題を終え、荷物を片付けてから、30分間。子どもと一緒に終了時刻をホワイトボードに記入して、確認してからスタッフが貸し出すといった約束事を守って、みんなで楽しく使用しています。

3 児童館（ゆうゆうクラブ、地域学童）と連携した取組

- 学校運営協議会に放課後まなび教室の実行委員長や児童館の館長が参画しているだけでなく、放課後まなび教室のスタッフ会議にも児童館の館長が参画しています。
- 児童館の行事に放課後まなび教室のスタッフがコーナーを担当するなどの交流を行っています。



児童館の館長がスタッフ会議に参画

児童館のクリスマス会にスタッフが参加



北醍醐小学校 放課後まなび教室 （平成 29 年度）

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了（3～11月）	終了（12～2月）
週 4 日	●	●	●	／	●	午後 2 時 30 分	午後 4 時 30 分	午後 4 時

○ 開設場所 視聴覚教室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
児童数	27	29	26	22	37	22	163
まなび登録者数	13	15	12	4	0	0	44
※うち学童登録者	9	8	7	0	0	0	24

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数（アドバイザー、サポーター） 15名

2 教室の特色

- 「楽しい教室」を目指して、スタッフを中心に企画運営している。
- 日々の活動をより充実したものにするために、作品制作や色々な取組を工夫し活動している。
- 宿題や音読などの自学自習に取り組み、児童の状況に応じてスタッフが児童に寄り添い、丁寧に支援している。



自主的に学習をすすめる子どもたち。



切り絵など子どもたちの作品づくりを掲示。



教室で「集中」して学習に取り組む子どもたち。



宿題が終わった
後の友達とのひ
ととき

学習課題が終わればゲームでお楽しみタイム。



まなびスタッフから毛糸の編み方を教わり、マフラー作成中。



一人学習をする時も、友だちと一緒に学習する時も楽しい時間です。

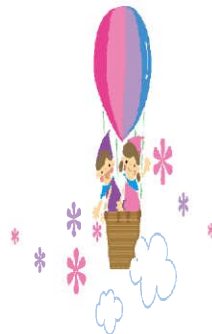


3 ゆうゆうクラブと連携した取組

- 放課後まなび教室とゆうゆうクラブの合同行事を実施している。
(ホットなかよしタイムの実施・ぬり絵コンテストの参加・夏祭り参加等)
- 放課後まなび教室から、ゆうゆうクラブへ行く連携体制をとっている。



ぬり絵コンテストにも一緒に参加。



まなび教室からゆうゆうクラブに行く子どもに対して、参加カードで確認し、声かけをするスタッフ。



「ホットなかよしタイム」に放課後まなび教室やゆうゆうクラブの子どもたちが一緒に参加。ゆうゆうスタッフとまなびスタッフが協力し、支援見守りを行った。



開(閉)講式や行事には校長先生、ゆうゆうクラブの館長先生も来てくださいます。

伏見板橋小学校 放課後まなび教室 （平成 29 年度）

1 教室の概要

○ 開設日時

開設日	月	火	水	木	金	開始	終了（4～9・2・3月）	終了（10～1月）
週 4 日	●	●	●	●		午後 2 時半	午後 5 時半	午後 5 時

○ 開設場所 伏見板橋小学校放課後まなび教室

○ 登録児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
全児童数	1 0 1	1 0 5	8 7	8 8	9 0	7 6	5 4 7
まなび登録者数	3 3	4 6	3 0	1 7	1 6	4	1 4 6
※うち学童登録者	1 1	1 2					2 3

※「うち学童登録者」…放課後まなび教室登録者のうち学童クラブにも登録する児童

○ 登録スタッフ数（アドバイザー，サポーター） 26名

2 教室の特色

○学力向上の取組の一環として、児童の基礎学力の定着や、自主的に学習する習慣づけを図る。

○「地域の子どもは地域で育む」基本方針のもと、地域や学生のボランティアの参画を得て、放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりを進める。

○地域の特性や伝統を生かした文化的な取組を、折にふれて実施する。

◆学習計画プリントを用意し、その日の学習計画を立てる。計画を立てられなかった時はその日に学習したことを記入する。計画に対して「できた」「もう少し」と自己判断する。

◆授業の進度に応じて学習プリントを用意している。家からドリルなどを持ってきている子はそれをする。宿題後にプリントやドリルをすることで+アルファの学習の習慣づけができるようにする。

◆宿題や自主学習はやった後にスタッフに見てもらう。自分で考えてわからないときはスタッフに教えてもらう。間違ふことは悪いことでも恥ずかしいことでもなくて、そのままにしておくことがいけない、やり直す、わかるようになって帰るように子どもたちに言葉かけをしている。



みんな集中しています。



自分のめあてにあった学習を。

◆時間がゆっくり取れる夏休みは「光の色、反射」「水溶液の性質」などの実験教室を行い、冬休み前はお正月の飾りなどの工作を行っている。

◆学習後はスタッフが持ち寄った空き箱等を自由に使って作りたいものを作って持ち帰る。ブロック、トランプ、将棋、オセロ、百人一首など友達と遊ぶことができる。寄付された本もたくさんあり、読書もできる。スタッフの手が空いた時は一緒にトランプなどのゲームや折り紙をしたりして楽しむ。



お金が消える？魔法の貯金箱を夏休みに作りました。



部首合わせ。ゲーム感覚で。

冬休みには門松を作りました。

3 児童館（ゆうゆうクラブ、地域学童）と連携した取組

○放課後まなび教室の参加児童で保護者、まなび教室の両方のハンコがある児童は、一旦帰宅せず児童館に行けるように連携している。

○児童館が季節行事をするときにまなび教室にも招待状をいただいている。

○放課後まなび教室の説明会に児童館の館長に来ていただき、説明をしていただいている。



今日は児童館に行く日ですか？



定期的に子どもたちの動向をチェック



保護者や児童館にお便りを印刷し配る

子どもの声



まなび教室で勉強した後、児童館の友だちと遊べるからうれしい。

保護者の声



仕事で帰りが遅いので、まなび教室・児童館と遅くまで預かってもらえるので有難いです。